

日本芸術文化振興会ニュース

2021
10
Oct.

国立劇場 | 国立演芸場 | 国立能楽堂 | 国立文楽劇場
伝統芸能情報館 | 国立劇場おきなわ | 新国立劇場 | 芸術文化振興基金

能楽図繪



今月の表紙

三井寺

月岡耕漁 画
「能楽図繪二百五十番」より
国立能楽堂蔵

目次 Contents

※日本芸術文化振興会ニュースの最新号の誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council 2021.10

■ 国立劇場		■ 国立劇場おきなわ	
10月歌舞伎公演.....	1	10月主催公演.....	10
10月邦楽公演.....	2	■ 新国立劇場	
■ 伝統芸能情報館／展示・イベント情報		10月主催公演.....	11
伝統芸能情報館／国立劇場／		■ 10月公演カレンダー.....	12～15
文化デジタルライブラリー／国立演芸場.....	3	■ 芸術文化振興基金	
■ 国立演芸場		文化芸術振興費補助金による助成事業.....	16
10月上席／10月中席.....	4	芸術文化振興基金による助成事業.....	17
10月花形演芸会／10月国立名人会／		■ 研修便り.....	18
10月特別企画公演.....	5	■ 大衆芸能(太神楽)研修生募集要項.....	19
■ 国立能楽堂		■ インフォメーション	
10月主催公演.....	6	バーチャル日本博オープン.....	20
展示・イベント情報.....	7		
■ 国立文楽劇場			
10月舞踊公演／展示・イベント情報.....	8		
錦秋文楽公演.....	9		

● 各館チケット購入方法 ●

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場 (大阪)

- ① インターネット
- ② 電話 ☎ 0570-07-9900/03-3230-3000 (一部IP電話等)(10時～18時)
- ③ 窓口 各劇場チケット売場 (10時～18時)

※学生・シルバー・障害者等、各種割引あり。詳しくはお問合せください。
※学生・シルバー料金は、電話・窓口で販売しております。※シルバー料金対象は65歳以上
※電話・窓口は年末年始・7月1日は休業です。

新国立劇場

- ① インターネット
- ② 電話 (10時～18時)
☎ 03-5352-9999
- ③ 窓口 (10時～18時)

※学生・障害者等、各種割引あり。
詳しくはお問合せください。
※電話は年末年始・休館日を除き、年中無休。
窓口営業はウェブサイトをご覧ください。

国立劇場おきなわ

- ① インターネット
- ② 電話 (10時～17時30分)
☎ 098-871-3350
- ③ 窓口 (10時～18時)

※学生・障害者等、各種割引あり。
詳しくはお問合せください。
※電話・窓口は年末年始を除き、年中無休。

● 本誌掲載の公演・イベント等の実施について ●

本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。
最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。

国立劇場

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
 電話 03-3265-7411 (代表)



10月歌舞伎公演《大劇場》

国立劇場開場55周年記念
 令和3年度(第76回)文化庁芸術祭主催公演

近松徳三 作

通し狂言
伊勢音頭恋寝刃
 二幕七場

国立劇場美術係 美術

序幕	第一場	伊勢街道相の山の場
	第二場	妙見町宿屋の場
	第三場	野道追駆けの場
	第四場	野原地蔵前の場
	第五場	二見ヶ浦の場
二幕目	第一場	古市油屋店先の場
	第二場	同 奥庭の場

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁芸術祭執行委員会
 「日本博」参画プロジェクト

【主な配役】

福岡貢	中村梅玉	藤浪左膳	中村又五郎	料理人喜助	中村梅枝	油屋お紺	中村歌	油屋お鹿	中村歌	奴林平	中村萬太郎	油屋お岸	中村蒼玉	徳島岩次	片岡市蔵	美ハ藍玉屋北六	坂東秀調	藍玉屋北六	中村扇雀	美ハ徳島岩次	今田万次郎	中村扇雀	仲居万野	中村時蔵
-----	------	------	-------	-------	------	------	-----	------	-----	-----	-------	------	------	------	------	---------	------	-------	------	--------	-------	------	------	------

10月2日(土) ~ 26日(火)

イヤホンガイドあり 託児室あり 好評発売中

※8日(金)、18日(月)は休演
 12時開演(15時終演予定) ※途中休憩を予定しています。
 1等席12,000円・2等席8,000円・3等席3,500円
 (学生料金 [電話・窓口で販売] 1等席8,400円・2等席5,600円・3等席2,500円)

国立劇場託児室 (要予約・有料)	開室日	歌舞伎・文楽公演期間中の月・水・土・日・祝日 ※現在、受け入れ人数を制限しております。
	料金	(0~1歳) 2,200円 / (2~12歳) 1,100円
	ご予約・お問合せ	イベント託児・マザーズ http://www.mothers-inc.co.jp/ ☎ 0120-788-222 (平日 10~12時 / 13~17時)

国立劇場
 伝統芸能情報館
 展示・イベント情報
 国立演芸場
 国立能楽堂
 国立文楽劇場
 国立劇場おきなわ
 新国立劇場
 10月公演カレンダー
 芸術文化振興基金
 研修便り
 研修生募集要項
 インフォメーション



10月邦楽公演《小劇場》

国立劇場開場55周年記念

日本音楽の流れIV―笛・尺八―

〔雅〕 楽 管絃 胡飲酒

十二音会

〔尺八本曲〕 大和調子

明暗真法流 瀧落

地無し尺八 志村禪保

〔実演・解説〕 笛のさまごま

西川浩平
森重行敏

〔実演・解説〕 尺八のさまごま

野村峰山
森重行敏

〔能〕 楽 一管真ノ音取

一調一管 安宅

謡 観世喜正
能 管 竹市学
小 鼓 吉阪一郎

〔三〕 曲 虫の武蔵野

作曲 宮城道雄

三 箏 遠藤千晶
八 絃 上條妙子
尺 八 藤原道山

〔現代曲〕 IN THE END WAS THE WORD

新作委嘱初演
イン・ディ・エンド・ワズ・ザ・ワード
終わりに言葉があった
作曲 権代敦彦

〔長〕 唄 常磐の庭

唄 杵屋利光・東音味見純・
杵屋五太郎
三味線 杵屋五三郎・杵屋五助
上調子 今藤龍市郎
篠笛能管 福原徹彦
太 鼓 藤舎呂英

龍 笛 八木千暁・伊崎善之・
野護元

篠笛能管 鳳聲晴久・加藤俊彦・
澄川武史

尺八長管 元永拓・小濱明人・
田嶋謙一
尺八短管 神令・川村葵山・
黒田鈴尊
オルガン 大平健介
声 斎藤説成

令和3年度「日本博」主催・共催型プロジェクト
主催 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

10月9日(土)

14時開演(17時終演予定) ※途中休憩を予定しています。
全席指定5,500円(学生料金【窓口・電話で販売】3,900円)

字幕あり 託児室あり 好評発売中



10月邦楽公演《小劇場》

国立劇場開場55周年記念

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭協賛

文楽素浄瑠璃の会

〔12時開演〕

傾城恋飛脚

新口村の段

恋女房染分手綱

重の井子別れの段

〔15時開演〕

妹背山婦女庭訓

杉酒屋の段

一谷嫩軍記

熊谷陣屋の段

鶴 豊
澤 竹
清 陸
友 太夫

鶴 豊
澤 竹
燕 咲
三 太夫

竹 豊
澤 竹
團 希
七 太夫

鶴 豊
澤 竹
清 呂
志 太
郎 夫

「日本博」参画プロジェクト

10月23日(土)

12時開演(14時終演予定)・15時開演(17時終演予定) ※途中休憩を予定しています。
全席指定4,200円(学生料金【電話・窓口で販売】2,900円)

字幕あり 託児室あり 好評発売中

【伝統芸能情報館】



展示

1階情報展示室 入場無料

●企画展示

「舞台の花鳥風月 ―装いの美―」

近世から現代まで日本で成り立ち、展開してきた芸能には、表象としての「花鳥風月」が採り入れられ、舞台を彩ってきました。自然の風景を描く舞台装置、四季の花々をあしらった衣裳、鳥や蝶など自然界の生き物を表現した小道具、そして、舞台の装いにそれらの美を採り入れる役者の姿に、「花鳥風月」の精神性が見いだされます。本展では、文献や錦絵、楽屋の模様、衣裳や鬘、装身具、舞台写真等を通して、舞台の花鳥風月の世界を紹介します。

【会期】10月22日(土)~令和4年1月27日(木)

【開室時間】10時~18時

【10月休室日】なし

【入場制限】25名以内 ※展示室内の混雑緩和のため



イベント

3階レクチャースタッフ

受講有料事前申込制

●第79回伝統芸能講座 (有料/抽選制)

「入門..歌舞伎のかつら」

【講師】川口清次氏 (東京演劇かつら株式会社)
鬘や衣裳といった歌舞伎を彩る「装い」には、日本の四季折々の自然美や、職人の技術によって生み出された豊かな造形美をみてとることが出来ます。本講座では、選定保存技術「歌舞伎鬘製作」の保持者である鬘師の川口清次氏をお招きし、鬘製作の「わざ」とその魅力をお話しいただきます。

【日時】11月12日(金) 14時開始(15時30分終了予定)

【定員】56名 (抽選制) / 全席座席指定

【受講料】1,000円 (当日現金にてお支払い頂きます)

【応募締切】10月25日(月) はがき・当日消印有効 / 電子メール..締切日の23時59分まで

【応募方法】1名様につき一通、電子メールまたは往復はがきでお申し込みください。(重複申込無効)

【電子メールの場合】件名に「第79回伝統芸能講座」、本文に①お名前②電話番号③講座の開催日④講座のタイトルを記入の上、左記のメールアドレスまでお送りください。

denkoukaza@niji.ac.go.jp

【往復はがきの場合】往復はがき①住所②お名前③電話番号④講座の開催日⑤講座のタイトル、返信表に⑥住所・お名前をこの記入の上、左記の宛先までお送りください。

T10218656 東京都千代田区豊町4-1-1

国立劇場調査資料課「第79回伝統芸能講座」係

※お寄せいただいた個人情報、今回の募集以外の目的では一切使用いたしません。

※抽選結果はそれぞれ「電子メール」または「返信はがき」でお知らせします。

※「電子メール」でお申し込みの場合、denkoukaza@niji.ac.go.jpからのメールを受信できるように設定をお願いします。3営業日以内に応募完了メールが届かない場合はお問合わせください。

●図書閲覧室 (2階)

歌舞伎・文楽・演芸などの芸能関連図書や、国立劇場・国立演芸場の公演関連図書が閲覧できます。

(閲覧希望日前日までに要予約/入場制限:上限10名)

【開室時間】平日の11時~16時

【休室日】土・日・祝日・月末整理日

【予約・問合せ先】03-3265-6300 (直)

【開室日】11時~16時

【国立劇場】

視聴室 (3階)

国立劇場・国立演芸場の主催公演のうち、記録映像・録音があるものを視聴できます。

(視聴希望日前日までに要予約/視聴料30分ごとに110円/入

場制限:上限3名

【開室時間】平日の11時~16時

【休室日】土・日・祝日・月末整理日

【予約・問合せ先】03-3265-6479 (直)

【開室日】11時~16時

【文化デジタルライブラリー】

<https://www.niji.ac.go.jp/dglib/>

伝統芸能を調べる・見る・学ぶためのウェブサイトです。

○調べる: 国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場の過去の自主公演について調べることができます。

○見る: 錦絵やプロマイドなど、伝統芸能に関する資料を見ることが出来ます。

○学ぶ: 舞台芸術の魅力をわかりやすく紹介するコンテンツで学ぶことができます。

【国立演芸場】



展示

1階演芸資料展示室 入場無料

演芸資料展

「江戸の名どころ 嘸めぐり」

本展では、落語に縁のある江戸・東京の姿や名所を、国立劇場に収蔵されている貴重な錦絵や演芸資料でめぐります。展示を見ながら、改めて落語の楽しさを感じ、ちょっとした旅気分を味わっていただければと思います。

【会期】開催中(11月23日(火)~祝)

【開室時間】10時~17時

【10月休室日】22日(金)、24日(日)、27日(水)、28日(木)

※公演の都合により休室日に変更になる場合があります。

【入場制限】8名以内 ※展示室内の混雑緩和のため

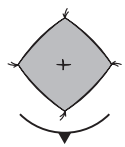
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、日程や時間等を変更することがございます。最新情報については、日本芸術文化振興会ホームページ、又は各お問合せ先でご確認ください。

国立演芸場

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
 電話 03-3265-7411 (代表)



10月公演《好評発売中》

令和3年度(第76回) 文化庁芸術祭協賛公演

上席
 10月1日(金)～10日(日) 13時開演(15時30分終演予定)

落語
 (日替)
 昔昔亭 昇
 昔昔亭 喜太郎

落語
 (日替)
 昔昔亭 A太郎(3・7・8日)
 昔昔亭 桃之助(1・9・10日)
 柳亭 芝樂(2・4・6日)

コント
 ザ・ニュースペーパー

落語
 (日替)
 桂 枝太郎(1・5・7・9・10日)
 瀧川 鯉朝(2・4・6・8日)
 — 仲入り —

落語
 (日替)
 春風亭 愛橋(1・3・5・8・10日)
 昔々亭 慎太郎(2・4・6・7・9日)

奇術
 (日替)
 小泉 ボロン
 瞳 ナナ

落語
 昔昔亭 桃太郎

全席指定2,000円(学生1,400円・シルバー1,400円)

中席
 令和3年度(第76回) 文化庁芸術祭協賛公演
 10月11日(月)～20日(水) 13時開演(15時30分終演予定)

落語
 (日替)
 古今亭 始(11・13・14・19日)
 古今亭 志ん松(12・15・17日)
 柳家 さん光(16・18・20日)

落語
 (日替)
 古今亭 駒治(11・13・17・18日)
 桂 やまと(14・16・19・20日)

音曲漫才
 めおと楽団ジキジキ

落語
 柳家 はん治

落語
 — 仲入り —
 三遊亭 歌奴

奇術
 マギー隆司

落語
 古今亭 志ん輔

全席指定2,000円(学生1,400円・シルバー1,400円)

※上席の日替の出演日につきましては、決定次第、逐次ホームページに掲載(更新)いたします。

第511回 花形演芸会

10月23日(土) 13時開演(15時35分終演予定)

落語 「湯屋番」 柳亭市童

浪曲 「吉良の仁吉」 国本はる乃
曲師 馬越ノリ子

上方落語 「くつしやみ講釈」 笑福亭べ瓶

―仲入り―

落語 〈ゲスト〉 林家たい平

漫才 風藤松原

落語 「大工調べ」 春風亭昇也

全席指定1,800円

(学生1,200円・シルバー1,500円)

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭協賛公演
第452回 国立名人会

10月25日(月) 13時開演(15時35分終演予定)

落語 「そば清」 入船亭扇好

落語 「一分茶番」 三遊亭吉窓

落語 「六尺棒」 桂文楽

―仲入り―

紙切り 林家正楽

落語 「お楽しみ」 柳家小三治

全席指定3,100円(学生2,200円)

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭協賛公演
特別企画公演
五代目圓楽一門会

10月29日(金)～31日(日) 13時開演(15時40分終演予定)

落語	三遊亭好楽	三遊亭鳳楽	三遊亭圓楽	落語	29日(金)	二ツ目昇進 三遊亭兼之介改メ 三遊亭楽花山	三遊亭楽	三遊亭兼好	三遊亭王楽	三遊亭鳳笑	三遊亭道楽	三遊亭楽	30日(土)	三遊亭楽	三遊亭栄豊満	31日(日)
落語	三遊亭鳳楽	三遊亭圓楽	三遊亭兼好	落語	30日(土)	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	31日(日)	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好
落語	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	落語	31日(日)	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好	三遊亭兼好

全席指定3,100円(学生2,200円)

※番組・出演者の変更の際はご了承ください。 ※展示情報はp.3をご覧ください。

国立能楽堂

公演情報

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
電話 03-3423-1331 (代表)



10月公演《好評発売中》
令和3年度(第76回)文化庁芸術祭協賛公演

定例公演 10月6日(水) 13時
(15時15分終演予定)

狂言(大蔵流) **蟹山伏** 山本 則俊
能(観世流) **仏原** 片山九郎右衛門

みどころ

「仏原」旅僧の前に仏御前の霊が現れ、平清盛の寵愛を受けた在りし日を懐旧し、世の儚さを嘆きつつ舞を舞います。「平家物語」を題材とした稀曲です。

普及公演 10月9日(土) 13時
(15時30分終演予定)

解説・能楽あんない **貴種流離の王女と王子** 松岡 心平
狂言(和泉流) **清水** 野村 萬
能(観世流) **蟬丸** 武田宗和
替之型 山階 彌右衛門

みどころ

「蟬丸」逢坂山に捨てられた延喜帝の皇子蟬丸。琵琶を弾いていると、姉・逆髪がその音を頼りに近づいてきます。悲哀に満ちつつ、その詩情にも心打たれる佳作です。

定例公演 10月15日(金) 17時30分
(20時終演予定)

※開演時間を18時30分から17時30分に変更いたしました。
狂言(和泉流) **小傘** 野村 萬斎
能(宝生流) **春榮** 今井 泰行

みどころ

「春榮」囚われの身となった春榮は、訪ねて来た兄の身を案じ兄弟だと名乗りません。兄もまた弟の身を案じ、身代わりを名乗り出ます。武士の心意気を描く劇的作品です。

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭主催公演

外国人のための能楽鑑賞教室

Discover NOH & KYOGEN 10月21日(木) 18時
(20時30分終演予定)

※開演時間を19時から18時に変更いたしました。
解説(英語) **リチャード・エマート**

みどころ

狂言(大蔵流) **口真似** 大藏 基誠
能(喜多流) **高砂** 大村 定

みどころ

「高砂」高砂の浦を訪れた阿蘇の神主の前に現れた老夫婦は松の日出度々と和歌の威徳を説き、神主を住吉へ船出させます。やがて住吉明神が現れ舞を舞います。祝言性溢れる世阿弥の代表作です。

「日本博」参画プロジェクト

特別公演 10月30日(土) 13時
(17時終演予定)

能(観世流) **頼政** 浅井 文義
狂言(和泉流) **飛越** 佐藤 友彦
一調 **遊行柳** 山本 順之
能(金春流) **三井寺** 高橋 忍

みどころ

「頼政」宇治橋の合戦で敗れた源頼政の霊が現れ、戦の有様や自害した最期を語ります。前場の寂とした宇治の情景描写も美しい世阿弥作の修羅能です。

「三井寺」我が子を探して物狂いとなり三井寺までやってきた母。中秋の名月の下、子への思いを募らせ鐘を撞く「鐘ノ段」は情緒あふれる名場面です。

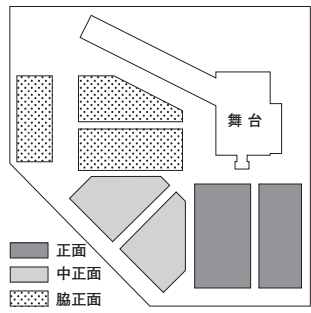
国立能楽堂能楽研修発表会
第26回青翔会 10月19日(火) 13時開演
(16時20分終演予定)

舞囃子(喜多流) **八鳥** 金子 龍晟
舞囃子(金春流) **班女** 岩松 由実
舞囃子(観世流) **紅葉狩** 角 幸二郎
狂言(和泉流) **昆布売** 飯田 豪
能(宝生流) **融** 高橋 憲正

※全席に字幕システム有。日本語・英語選択可。(9日(土)普及公演の解説・19日(火)青翔会は字幕表示なし)
※外国人のための能楽鑑賞教室の字幕は、日本語・英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語。

【入場料金】※()内は学生料金

	正面	脇正面	中正面
定例公演・普及公演	5,000円	3,300円 (2,300円)	3,000円 (2,100円)
外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN	3,200円 (1,400円)	2,700円 (1,400円)	2,200円 (1,400円)
特別公演	7,800円	6,300円 (4,400円)	4,900円 (3,400円)
青翔会	1,500円	1,000円 (700円)	700円 (500円)



展示・イベント情報



1階資料展示室 入場無料

能楽入門

能のいでたち(扮装)に注目し、能の五番立に従って主な登場人物を面、装束、小道具等によって展示します。

能や狂言は難しくてわからないと感じてこれまで能楽堂を訪れる機会が無かった皆様にも能楽の魅力が身近に感じられるような、初めての方でもお楽しみ頂ける展示です。



2階大講義室 受講無料 事前申込制

◎国立能楽堂公開講座
11月17日(水) 14時

1月の狂言と能―背景を読み解く―

《講師》水川まりこ氏(伝統文化ジャーナリスト)

【募集】70名 ※抽選による座席指定(※大講義室内の混雑緩和のため)応募多数の場合抽選
【応募締切】10月27日(水)、必着
【応募方法】1講座につき、1名様1枚の往復はがきでお申し込みください。※重複申込無効
往復に①郵便番号②住所③氏名④連絡先電話番号⑤講座

2021年10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

□ 開室日(開室時間:11:00~16:00)
★ 写真資料利用受付日

図書閲覧室(地下1階)

能楽関連図書や国立能楽堂公演記録資料の閲覧・視聴(予約制) ◎開室時間:11時~16時(開室日は開室日カレンダー参照) ◎図書閲覧(無料)・公演記録視聴(有料)のご予約 03-3423-1145(直) 【入場制限】14名以内(視聴覚ブース4名・図書閲覧10名) ※閲覧室内の混雑緩和のため ※視聴覚ブースは1ブース1名利用とします。 ※日程や時間、入場制限等、変更となる可能性があります。 詳しくは 国立能楽堂調査資料係にお問合せください。

の日付⑥講座タイトル、返信に住所・氏名を明記の上、左記の宛先にお送り下さい。
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
国立能楽堂「公開講座」係
※お寄せいただいた個人情報、今回の募集以外の目的では使用いたしません。
※結果は返信はがきにてお知らせいたします。
※日程や時間等、変更となる可能性があります。詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問い合わせください。
※往復はがきの料金は現在126円(往信63円+返信63円)です。郵便料金にご注意ください。
【問合せ先】国立能楽堂調査資料係
03-3423-1331(代) [平日10時~17時]

国立文楽劇場

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10
電話 06-6212-2531 (代表)



10月舞踊公演《文楽劇場》

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭主催公演

東西名流舞踊鑑賞会

【第一部】

上方唄 **ぐち**

常磐津 **松島**

長唄 **夢の富**

義太夫 **弓流し物語**

【第二部】

長唄 **近江のお兼**

地歌 **関の扇**

義太夫 **関寺小町**

常磐津 **常磐の老松**

榎茂都 梅衣華

藤間 藤於子

西川 箕乃助

井上 八千代

市川 翠扇

吉村 輝尾

花柳 與

山村 友五郎
若

演奏 豊竹咲太夫・鶴澤燕三／杵屋東成・杵屋勝祿／常磐津一佐太夫・常磐津都瓦蔵／菊原光治ほか
囃子 藤倉呂浩連中
主催 独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁芸術祭執行委員会
「日本博」参画プロジェクト

好評発売中

10月9日(土)

第一部=13時開演(14時50分終了予定) 第二部=16時30分開演(18時25分終了予定)
※途中休憩を予定しています。
全席指定6,500円(学生料金[窓口・電話で販売]4,600円)

展示・イベント情報



展示

1階資料展示室

入場無料

「ひらかな盛衰記」

◎企画展
源平合戦の中の、木曾義仲討伐から一の谷の合戦までを背景に、義仲の遺臣樋口次郎兼光の忠節や、梶原源大景季の出陣をめぐる物語を描く「ひらかな盛衰記」。源平合戦を題材とした能・文楽・歌舞伎に関する資料から「ひらかな盛衰記」の魅力をご紹介します。

【会期】10月9日(土)～11月28日(日)
【開室時間】10時～18時

※日程や時間等、変更となる可能性があります。
※入場制限がございます。

図書閲覧室(3階)

☎06-6212-2531(代)

文楽関係図書/国立文楽劇場公演記録資料(文楽)
◎平日・11時～16時 ※図書・視聴ともに要予約
◎休室日・土曜日・日曜日・祝日・年末年始・月末整理日

2021年10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

□ 開室日(開室時間:11:00～16:00)
※要予約



錦秋文楽公演《文楽劇場》

令和3年度（第76回）文化庁芸術祭主催公演

【第一部】

蘆屋道満大内鑑

あしやどまん おおうちががま
保名物狂の段
葛の葉子別れの段
蘭菊の乱れ

【第二部】

ひらかな盛衰記

ひらがなせいすいき
大津宿屋の段
笹引の段
松右衛門内の段
逆櫓の段

【第三部】

団子売

ひらかな盛衰記

だんごうり
ひらがなせいすいき
辻法印の段
神崎揚屋の段



ひらかな盛衰記 神崎揚屋の段

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁芸術祭執行委員会
「日本博」企画プロジェクト・大阪文化芸術フェス2021参加プログラム

伝説芸能情報館
展示・イベント情報

国立演芸場

国立能楽堂

国立文楽劇場

国立劇場おきなわ
新国立劇場

10月公演カレンダー

芸術文化振興基金

研修便り
研修生募集要項

インフォメーション

10月30日(土)～11月21日(日) ※11月10日(水)は休演

字幕あり

イヤホンガイドあり

第一部11時開演(13時20分終演予定) 第二部14時開演(17時15分終演予定) 第三部18時開演(20時終演予定)

※途中休憩を予定しています。

1等席5,500円・2等席3,500円・第二部・第三部セット割引料金9,900円(1等席のみ)

(学生料金[窓口・電話で販売]1等席3,900円・2等席3,500円)

●一般発売=10月10日(日) ●窓口発売開始=10月11日(月) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。



配信
文楽プレミアムシアター
「珠玉の舞台がオンラインで蘇る！」

国立文楽劇場で上演された名演の数々を、おうちでお楽しみください。

●第三回配信

演 目 「艶容女舞衣」酒屋の段

配信期間 (昭和62年1月 国立文楽劇場)
12月1日(水)11時～12月7日(火)23時59分
(再配信 12月15日(水)11時～12月21日(火)23時59分 ※再配信も別途チケットが必要です)

※視聴チケットの販売期間はいずれも配信終了の1日前までです。ご注意ください。

出演 竹本越路太夫(四代)、鶴澤清治、吉田玉男(初代)、吉田賛助(三代) 他

販売価格 2,500円(税込)

販売サイト イープラス「Streaming+」(ストーリーミングプラス)

※詳細はホームページをご確認ください。



「艶容女舞衣」酒屋の段
(昭和62年1月 国立文楽劇場)



※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、公演中止や資料展示室等を休室することがございます。
各種情報につきましては、随時、国立劇場おきなわのホームページに掲載いたします。

◇ 10月主催公演のご案内 ◇

令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト
令和3年度（第76回）文化庁芸術祭協賛公演

▶第61回普及公演 組踊鑑賞教室「銘苺子」

組踊の魅力をより多くの方々に気軽に楽しんでもらえるよう、第一部では組踊の歴史や鑑賞ポイントなど、実演と映像を使用した解説を交えて楽しく紹介します。第二部では、組踊の創始者・玉城朝薫の作品の中から、親子の深い情愛が描かれた組踊「銘苺子」を上演いたします。初めてご覧いただくお客様におすすめの組踊入門公演です。英語・日本語のオーディオガイド、英語のタブレットガイドが無料でご利用いただけます。



【日程】10月23日（土）14時開演 字

【料金】2,300円

令和3年度（第76回）文化庁芸術祭主催公演

▶第114回企画公演 アジア・太平洋地域の芸能 ～インド・バリ・ポリネシアの芸能～

アジア太平洋地域に伝承される様々な舞踊。今回はインド・バリ島・ポリネシア諸島の伝統舞踊を上演します。沖縄県内外で活躍する舞踊家と演奏家を招聘し、それぞれの歴史や琉球舞踊に影響を与えた舞踊を紹介します。素晴らしい伝統舞踊を国立劇場おきなわ独自の舞台上で再現します。



【日程】10月31日（日）14時開演 字

【料金】3,700円

字 字幕（標準語訳を表示）

レファレンスルームのご案内

【開室日時】火・水・木・第2・第4土曜日 10時～12時・13時～17時

【休室日】月・金・日・第1・3・5土曜日・祝日・慰霊の日（6月23日）年末年始（12月28日～1月3日）

【閲覧資料】①芸能関係図書・雑誌・新聞等 ②国立劇場おきなわ自主公演記録映像

（※視聴は有料30分ごとに50円）

資料展示室便り

令和3年度第3回企画展「御冠船踊の彩々」

【展示期間】10月2日（土）～12月12日（日）

【開室時間】10時～18時（入場無料）（夜公演の際は、閉館まで開室）

【展示内容】琉球王国時代、中国から訪れる冊封使を「ウトゥイムチ（お取り持ち）」するため、御冠船踊が披露されました。御冠船踊とは舞台芸能だけでなく、武芸、花火なども含めた総称であったと考えられます。今回の展示では獅子舞、からくり花火、唐棒、入子躍などに注目し、御冠船踊の多彩な演目について紹介します。



◇ 10月主催公演のご案内 ◇

オペラ

《オペラパレス》

令和3年度 (第76回) 文化庁芸術祭オープニング・オペラ

<新制作> ジョアキーノ・ロッシーニ作曲 **チェネレントラ**

【指揮】城谷正博 【演出】栗國 淳

今をときめくロッシーニ歌いたちが織りなすシンデレラストーリー

新国立劇場の2021/2022シーズンは、シンデレラの物語を題材にしたロッシーニによる傑作プッファで開幕します。歌手の超絶技巧を存分に楽しめるアリアの数々に、愉快な重唱と、聴きどころ満載の本作を、イタリア育ちの栗國 淳による演出で、当代きってのロッシーニ歌いたちと共にお届けいたします。



アレクサンドロ・チャンマルーギによる舞台スケッチ

【日程】10月1日(金)19時・3日(日)14時・6日(水)19時・9日(土)14時・11日(月)14時・13日(水)14時

【料金(税込)】S席27,500円/A席22,000円/B席15,400円/C席8,800円/D席5,500円/Z席1,650円(当日のみ)

バレエ

《オペラパレス》

令和3年度 (第76回) 文化庁芸術祭主催公演

新国立劇場バレエ団

<新制作> **白鳥の湖**

【振付】マリウス・プティパ/レフ・イワーノフ/ピーター・ライト

【演出】ピーター・ライト 【共同演出】ガリーナ・サムソワ

【音楽】ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

【指揮】ポール・マーフィー/富田実里

ドラマティックな展開で魅せる、古典の最高傑作

新国立劇場バレエ団の新シーズンは、サー・ピーター・ライトによる『白鳥の湖』と共に幕を開けます。古典バレエの名作中の名作に、英国らしい演劇的要素を盛り込み、重厚でドラマティックに仕立てたライト演出版では、ダンサーたちの演劇的な深みのある舞台をお楽しみいただけます。



@Takuya Uchiyama

【日程】10月23日(土)14時・24日(日)14時・26日(火)13時・30日(土)13時/18時30分・31日(日)14時・11月2日(火)14時・3日(水・祝)14時

【料金(税込)】S席14,300円/A席12,100円/B席8,800円/C席6,600円/D席4,400円/Z席1,650円(当日のみ)

バレエ研修所公演

《中劇場》

バレエ・オータムコンサート2021

優雅でありながら澁澀とした『ダンス・ダンス・ショパン』、見どころたっぷりの『ラ・バヤデル』第2幕パ・ダクシオンのほか、世界中の主要カンパニーから引っ張りだこの振付家C.ソトの陽気でチャームな作品を研修生・予科生がお贈りいたします。フレッシュな舞台にどうぞご期待ください。



撮影：瀬戸秀美

【日程】10月16日(土)・17日(日)両日15時開演

【料金(税込)】全席指定：2,200円

演劇研修所第15期生 試演会

《小劇場》

文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

七本の色鉛筆

矢代静一による本作は、昭和20年夏の日本の敗戦前から戦後へと移りゆく中で、時代に翻弄されながらもそれぞれの人生をしなやかに生き抜く父と七人の娘たちの物語です。1973年に文学座公演として初演され、この度田中麻衣子の演出で、新たに蘇ります。

【日程】10月19日(火)18時30分・20日(水)14時・21日(木)18時30分・22日(金)14時・23日(土)14時・24日(日)14時

【料金(税込)】A席 3,300円/B席 2,750円/ジュニア券・学生券 1,000円/Z席 1,650円(当日のみ)



掲載されている情報は9月15日付のもので、ご来場にご当てお客様へのお願い、新国立劇場における感染予防への取り組みについて、また、公演日程及びチケットの販売について、最新の情報は新国立劇場ウェブサイトをご覧ください。

国立能楽堂

大阪 国立文楽劇場

10月		能楽堂	文楽劇場	文楽劇場小ホール
1	金			
2	土	第四十八回能と狂言の 眞双会 鑑賞会 鷲鷲夢幻 03-3873-5404	前進座 創立九十周年記念 錦秋公演 一万石の恋 裏長屋騒動記 愛の仮名手本篇	フクマルまつり 桂福丸 桂福丸独演会 090-2047-3754
3	日	金春会定期能 金春会 03-5370-1266	劇団前進座 大阪事務所 06-6212-9600	
4	月			
5	火			
6	水	定例公演		
7	木			
8	金			
9	土	普及公演	舞踊公演	
10	日		花柳旭扇の会 花柳旭扇 06-6671-4739	
11	月			
12	火			
13	水			
14	木			
15	金	定例公演	第三回三輪貴宝 日本舞踊三輪事務所 リサイタル 06-6772-9830	
16	土		藤間流基扇会 藤間章基 06-6882-4370	第三回旭堂南龍独演会 三栄企画 06-6631-0659
17	日	萬狂言 ファミリー狂 萬狂言 言会・秋/秋公演 03-6914-0322	須山知行 桐絃社 十三回忌追善演奏会 06-6991-2334	
18	月			
19	火	第26回青翔会(能楽研修発表会)		
20	水			
21	木	外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN		倉橋容堂古典尺八 倉橋容堂 リサイタル 075-691-9346
22	金		第5回三人舞記念公演 金姫玉 070-1789-6431	聴くSDGs長唄演奏会 六甲工芸社 久遠の調べ 090-3926-0690
23	土			
24	日	忠三郎狂言会 忠三郎狂言会 075-432-6655		
25	月			
26	火			
27	水			
28	木	狂言でござる乃座 万作の会 64th 03-5981-9778		
29	金			
30	土	特別公演	錦秋文楽公演	
31	日	狂言でござる乃座 万作の会 64th 03-5981-9778	10月30日(土)～11月21日(日)	京山幸太独演会 京山幸太事務所 090-8202-6489

自主公演以外については、それぞれの記載の電話番号等にお問合せください。
なお、主催者の都合により掲載していない公演がございます。

10月公演カレンダー

太字 は独立行政法人日本芸術文化振興会の主催公演

		国立劇場			国立演芸場	
10月		大劇場	小劇場		演芸場	
1	金		藤間公珠の会 真鍋 090-3323-0822		上席 1日(金)～10日(日) 《断小屋》神無月の独り看板 いがぐみ 藍気楼龍玉「女殺油地獄」 03-6909-4101 真一文字の会 劇団馬場事務所オフィスエムズ ～春風亭一之輔勉強会～ 03-6277-7403 立川談笑独演会 夢空間 0570-06-6600 わん丈ストリート Vol.29 劇団馬場事務所オフィスエムズ 03-6277-7403 立川志らく ワナバエンターテインメント 落語大全集 03-6407-0373 中席 11日(月)～20日(水) ナイツ独演会 「キャホー」 スラッシュパイル と言いながら 03-6451-0554 亭主が帰って きた。	
2	土	歌舞伎公演 2日(土)～26日(火) 通し狂言 伊勢音頭恋寝刃 二幕七場	心の会 藤間心 03-3981-0752			
3	日		第20回 端唄花季会 花季利恵 045-843-9601			
4	月					
5	火					
6	水					
7	木					
8	金		休演			
9	土			邦楽公演		
10	日					
11	月					
12	火					
13	水					
14	木		第2回 龍巳の會 花柳琴巨 050-3557-9607			
15	金					
16	土		とどけ明日へ 未来へ 日本舞踊協会 つなぐ日本舞踊公演 03-3533-6455			
17	日		菊壽二人会 尾上菊保 03-3460-7529			
18	月	休演	藤間勘濤りさいたる・藤間勘濤 藤濤会 0479-22-0662			
19	火					
20	水		一般社団法人長唄協会 長唄協会事務局 秋季定期演奏会 03-6279-4749			
21	木					
22	金					
23	土		邦楽公演	花形演芸会		
24	日		秋季三曲名流演奏会 日本三曲協会 03-3585-9916			
25	月			国立名人会		
26	火			瀧川鯉昇・鯉八 産業経済新聞社 不思議な親子会 03-3243-8343		
27	水					
28	木					
29	金					
30	土			特別企画公演		
31	日		勝美会 勝美伊三次 090-3476-7595	29日(金)～31日(日)		

国立劇場おきなわの主催公演
に関するお問合せ先

国立劇場おきなわチケットカウンター
☎ 098-871-3350

国立劇場おきなわ

太字 は国立劇場おきなわの主催公演

10月		国立劇場おきなわ大劇場	国立劇場おきなわ小劇場
1	金		かりゆし芸能公演 NPO法人 尋藝能塾 尋藝能塾組踊「花売の縁」 090-5921-6318
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月		
12	火	公演記録鑑賞会&特別講座	
13	水		
14	木		
15	金		
16	土	琉球古典音楽野村流伝統音楽協会 特別公演「花紅柳緑」	
17	日	琉球古典音楽野村流伝統音楽協会 (田中) 090-9074-1486	
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土	普及公演	
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日	企画公演	師匠 清武マツ子三回忌追善 安富祖流絃舞会 竹田祐規 第1回独演会 清音響盤 (竹田) 090-7150-2322

国立劇場
東京都千代田区



国立演芸場
東京都千代田区



伝統芸能情報館
東京都千代田区



国立能楽堂
東京都渋谷区



国立文楽劇場
大阪府大阪市中央区



国立劇場おきなわ
沖縄県浦添市



新国立劇場
東京都渋谷区

10月公演カレンダー

国立劇場主催公演に関する
お問合せ先

国立劇場ボックスオフィス
☎ 03-5352-9999

国立劇場

太字 は国立劇場の主催公演

10月		オペラパレス	中劇場	小劇場	
1	金	オペラ公演 「チェネレントラ」 1日(金)～13日(水)	「山里亮太の140」 FANYチケット問合せダイヤル 0750-550-100	絶対青春コメディ「SING!!!」 一空の青と海の青と僕らの学校ー K.B.S.Project 050-3324-6751	
2	土		休演		
3	日		休演		
4	月		休演	「スジナシシアターVol.14」 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337	
5	火		休演		
6	水		休演		
7	木		休演		
8	金		休演		
9	土		休演	「一万石の恋」 ～裏長屋騒動記 愛の仮名手本篇～ 前進座 0422-49-0300	水野美紀×矢島弘一 「2つの「ヒ」キゲキ」
10	日		休演		水野美紀×矢島弘一 「2つの「ヒ」キゲキ」企画 2hikigeki@gmail.com
11	月		休演		
12	火		休演		
13	水		休演		
14	木				
15	金				
16	土		バレエ研究所公演 「バレエ・オータムコンサート2021」		
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木				
22	金			演劇研究所第15期生 試演会「七本の色鉛筆」 19日(火)～24日(日)	
23	土		「春風外伝2021」 レジェンドステージ 03-3519-6556		
24	日				
25	月	休演			
26	火	バレエ公演 「白鳥の湖」 10月23日(土)～ 11月3日(水・祝)			
27	水	休演			
28	木	休演			
29	金	休演			
30	土		「オープニングナイト」 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337		
31	日			バレエ「御佩剣(みはかし)」 トコイリヤ公演事務局 03-6869-9369	



文化芸術振興費補助金による助成事業

文化庁からの補助金により、芸術の水準向上に直接的な牽引力となる舞台芸術の創造活動や、国際的な舞台芸術の創造活動、劇場・音楽堂等が主体となって行う実演芸術の創造発信、優れた日本映画の製作活動等に対して助成しています。

舞台芸術創造活動活性化事業

助成対象分野	問合せ先(電話)	応募受付
音楽	03-3265-6077	11月1日(月)～19日(金)
舞踊	03-3265-6192	
演劇	03-3265-6365	
伝統芸能 大衆芸能	03-3265-6394	

国際芸術交流支援事業

助成対象分野	問合せ先(電話)	応募受付
海外公演	03-3265-6077 03-3265-6338	【第1回】11月1日(月)～19日(金) 令和4年4月1日～9月30日に実施される活動が対象。
国際共同制作公演 (海外公演・国内公演)		【第2回】令和4年5月16日(月)～27日(金) 令和4年10月1日～令和5年3月31日に実施される活動が対象。
国際フェスティバル		11月1日(月)～19日(金) 令和4年4月1日～令和5年3月31日に実施される活動が対象。

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

助成対象分野	問合せ先(電話)	応募受付
地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業	03-3265-6032 -7021 -6018	11月1日(月)～19日(金)
共同制作支援事業		※応募書類の提出先は振興会が委託する事務局です。 詳しくは募集案内をご覧ください。
劇場・音楽堂等間 ネットワーク強化事業		

映画製作への支援

助成対象分野	問合せ先(電話)	応募受付
劇映画	03-3265-6312	【第1回募集】 11月1日(月)～19日(金)
記録映画		【第2回募集】 令和4年5月16日(月)～27日(金)
アニメーション映画		

(注) 第1回募集分と第2回募集分では対象となる作品の完成時期が異なります。



芸術文化振興基金

■令和4年度助成対象活動の募集が始まります！

令和4年度の助成対象活動の募集がいよいよ始まります。これに先立ち、応募予定者を対象としたオンラインによる予約制の応募相談を受け付けています。詳細はホームページ(<https://www.ntj.jac.go.jp/kikin.html>)でご確認ください。

- ご相談は随時受け付けます(土・日・祝日を除く)。分野ごとの問合せ先へご連絡ください。
- 応募相談への参加は応募の必須条件ではありません。
- 応募は、電子申請にて受け付けます。



芸術文化振興基金による助成事業

芸術文化振興基金の運用益により、芸術団体等の行う文化の振興又は普及を図るための活動に対して助成しています。

舞台芸術・美術等の創造普及活動

助成対象分野		問合せ先(電話)	応募受付
現代舞台芸術創造 普及活動	音楽	03-3265-6077	11月1日(月)～19日(金)
	舞踊	03-3265-6192	
	演劇	03-3265-6365	
伝統芸能の公開活動		03-3265-6394	
美術の創造普及活動		03-5213-4175	
多分野共同等芸術創造活動		03-3265-6045	

国内映画祭等の活動

助成対象分野	問合せ先(電話)	応募受付
映画祭	03-3265-6312	【第1回募集】 11月1日(月)～19日(金)
日本映画上映活動		【第2回募集】 令和4年5月16日(月)～27日(金)

(注)第1回募集分と第2回募集分では対象となる活動の実施期間が異なります。

地域の文化振興等の活動

助成対象分野		問合せ先(電話)	応募受付
地域文化施設公演・ 展示活動	文化会館公演	03-5213-4169	11月1日(月)～19日(金)
	美術館等展示	03-5213-4174	
アマチュア等の文化団体活動		03-5213-4164 03-5213-4167	
歴史的集落・町並み、 文化的景観保存活用活動		03-5213-4172	
民俗文化財の保存活用活動			
伝統工芸技術・文化財保存技術の 保存伝承等活動			

大衆芸能（太神楽）^{だい かぐら} 研修生募集のお知らせ

太神楽就業者の減少のため、一般社団法人日本演芸家連合、太神楽曲芸協会、一般社団法人落語協会、公益社団法人落語芸術協会のご協力のもと、独立行政法人日本芸術文化振興会では、11年振りに第8期大衆芸能（太神楽）研修生を募集します。

◆太神楽とはどんなものですか？

江戸時代初期、伊勢神宮や熱田神宮の御師（^{おんし} 祈祷師）たちが、獅子頭を担いで各地を廻る神事芸能に始まり、余興として曲芸などをレパートリーに加えて、次第に娯楽色の濃いものとなり、江戸の太神楽では舞台芸能へと変化していきました。現在では寄席芸能に欠かせない演芸種目となっています。

◆どのような技芸がありますか？

- ・撥の曲芸（^{ぼち} 投げもの）…複数の棒をいろんなパターンで投げわけるもので、お手玉の発展系です。
 - ・五階茶碗の曲芸（^{ごかいちやわん} 立てもの）…あごの上でバランスを取り、茶碗などを積み重ねていきます。
 - ・傘の曲芸…傘の上で（^{まり} 鞠、^{かなわ} 金輪、^{ます} 升などを回します。
 - ・花籠鞠の曲芸…籠の中に、鞠を入れたり潜らせたりします。
 - ・寿獅子舞…悪魔を払い、おめでたく皆を祝す舞いです。
- その他、話芸の茶番、下座音楽、祭囃子などがあります。

国立演芸場や各寄席の舞台を華やかに彩る太神楽。ご応募お待ちしております。

※募集要項等詳細はp.19（左ページ）、下記ホームページでご確認ください。



撥の曲芸(春本 小助)



傘の曲芸(鏡味 仙成)

●研修生募集●

【問合せ】 国立劇場調査養成部養成課

TEL：03-3265-7105（直通） 平日午前10時～午後6時（年末年始を除く）

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>



大衆芸能(太神楽)研修生 募集要項

協力団体	一般社団法人日本演芸家連合 太神楽曲芸協会 一般社団法人落語協会 公益社団法人落語芸術協会
応募資格	中学校卒業(卒業見込みを含む)以上で、原則として年齢23歳以下の者。 経験は問いません。
募集人員	若干名
募集期間	令和3年10月1日(金)から令和4年1月31日(月)まで(応募書類必着)
選考方法	作文、簡単な実技試験、面接を行い選考します。
選考者	独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)及び上記協力団体
選考日	令和4年2月から3月上旬を予定(日程が決まり次第、応募者にお知らせします)
選考場所	国立劇場(東京都千代田区隼町4番1号)
研修期間	令和4年4月から令和7年3月までの3年間
研修時間	原則として、月曜日から金曜日までの平日午前10時から午後6時まで
研修場所	国立劇場
研修内容	投げもの、立てもの、獅子舞、囃子、舞踊、長唄、寄席囃子、講義、実習(前座見習)、 公演見学 他
適性審査	研修開始後8ヶ月以内に適性審査を実施します。 不合格となった場合は、研修生の身分を失います。
受講料	無料
奨励制度	希望者に伝統芸能伝承奨励費の貸与資格が与えられます。
宿舍等	遠隔地に居住する研修生には宿舍を貸与(審査有り・有料)、又は住宅費補助金を給付 します。
研修修了後	太神楽曲芸協会に所属し、同協会幹部の指導の下、国立演芸場や各寄席等に出演する ことになります。
お問合せ	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場調査養成部養成課 〒102-8656 東京都千代田区隼町4番1号 TEL 03-3265-7105(直通) 受付時間 午前10時～午後6時(土・日・祝日・年末年始を除く) ホームページ https://www.ntjjac.go.jp/training/trainee.html

※歌舞伎俳優、歌舞伎音楽(竹本・鳴物・長唄)研修生も募集しています。詳細についてはホームページ
をご覧ください。

「日本の美」の新たな発信拠点。

バーチャル日本博 オープン



リアルな感動を、
バーチャル空間でも。

「日本の美」を国内外へ発信する文化芸術の祭典「日本博」を、オンライン上の仮想空間で体験できる「バーチャル日本博」をオープンしました。

リアルな会場に足を運ぶのが難しい方でも、全国各地で開催されている多様な展覧会や舞台芸術、芸術祭などを美しいデジタルコンテンツで楽しめるプラットフォームです。日本博事業が表現する様々な「日本の美」を、映像、VR、画像等を通じてバーチャルの世界で体験することができます。

1 万年前の縄文時代の文化財から、仏像などの彫刻、浮世絵、工芸、きもの、ファッション、現代アートなどの展覧会、歌舞伎、能楽、文楽などの伝統芸能、現代舞台芸術、芸術祭、アイヌ文化を活用した各種体験事業などのコンテンツを日本語と英語で掲載し、国内外からアクセス可能な体験型のバーチャル空間を構築していきます。



日本博皇居外苑特別公演「祈りのかたち」
令和3年3月：皇居二重橋の前で、
能・狂言、琉球舞踊の公演を実施



国立劇場令和3年2月特別企画公演
「月・雪・花-四季折々のころー」
歌舞伎舞踊や邦楽などの伝統芸能を、
デジタルアートにより演出

■伝統芸能の魅力を再発見

日本の伝統芸能においては、令和3年3月12～14日、皇居の二重橋を背景とした特設会場にて開催された日本博皇居外苑特別公演「祈りのかたち」のダイジェスト映像や、令和3年2月28日に実施した国立劇場特別企画公演「月・雪・花-四季折々のころー」の公演記録映像（10月末まで期間限定で全編配信）を含め、歌舞伎、能楽、文楽など様々なコンテンツを、映像や舞台写真、錦絵などを通じてご覧いただけます。

日本博

検索

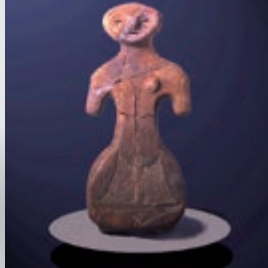


<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp/>

やんばる
アートフェスティバル
2021-2022

沖縄県本島北部地域（通称：やんばる）を舞台とした地域芸術祭。国内外の現代アーティストの作品展示と、県内作家を中心とした陶芸・ガラス・木工などの展示販売を軸に「やんばる」の魅力を世界へ発信します。

■沖縄県本島北部地域 ▶ 令和3年12月18日～令和4年1月16日



多摩ニュータウンのビーナス（土偶） 東京都教育委員会蔵

縄文2021 —東京に生きた縄文人—

「東京に生きた縄文人」をテーマに、自然と調和した当時の生活空間の再現や、出土品の解説を通じて、大自然の多様性を尊重し畏怖してきた縄文人の“心”を再発見する展覧会です。

■東京都江戸東京博物館 ▶ 令和3年10月9日～12月5日

海幸山幸 —折りと恵みの風景—

海と山に囲まれ、その恵みを得て育まれてきた歴史や文化を持つ日本。特別展「海幸山幸」では、木喰作「阿弥陀如来坐像」および、山元春拳筆「昭度主基風俗歌屏風（福岡）」を特別公開します。

■九州国立博物館 ▶ 令和3年10月9日～12月5日



昭度主基地方風俗歌屏風（右隻） 宮内庁三の丸尚蔵館蔵

琉球王朝の美

～沖縄伝統芸能、その継承と発信～
組踊や琉球舞踊などの沖縄伝統芸能の公演を実施するとともに、琉球王朝時代に首里城の御庭で披露された「からくり仕掛け花火」を復元し、実演します。

■国立劇場おきなわ ▶ 令和3年10月12日、10月23日、11月27日、令和4年1月15日・16日、1月22日、2月12日、2月26日・27日、3月12日
■富山県教育文化会館 ▶ 令和3年3月20日



「エヴァンゲリオン新劇場版：破」2009年公開 ©カヲラ

庵野秀明展

最新作「シン・エヴァンゲリオン劇場版」が大ヒットとなった庵野秀明。アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫ります。

■国立新美術館 ▶ 令和3年10月1日～12月19日

「日本の美」を体感する
多様な展覧会・公演・芸術祭を
全国で開催中



KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2021

世界屈指の文化都市・京都を舞台に開催される国際的な写真祭です。国内外の気鋭の写真家による作品展示を中心に、子供から大人、アマチュアからプロまでを対象としたさまざまな教育プログラムを開催します。

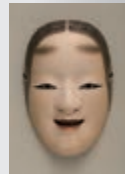
■京都市内約10か所（京都文化博物館 別館、二条城、両足院、崇田屋源兵衛 竹院の間、黒藏、他） ▶ 令和3年9月18日～10月17日

©Erwin Olaf

体感！日本の伝統芸能 —歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—

ユネスコ無形文化遺産に登録された日本の5つの伝統芸能【歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊】を一堂に集め、それぞれの芸能が持つ固有の美とそれを支える「わざ」を紹介します。

■東京国立博物館 表座敷
▶ 令和4年1月上旬～3月下旬



企画展「日本の生物多様性の解明と保全」(仮称)

日本の絶滅危惧種や絶滅種を中心とする多種多様な動植物について、標本や図譜、4K映像、プロジェクションマッピングなどを組み合わせ展示することにより、過去・現在・未来を概観しながら、そのかけがえのなさや重要性を伝えます。

■国立科学博物館 ▶ 令和3年12月14日～令和4年2月27日

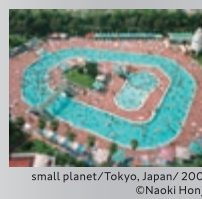


絶滅種ニホンカワウソの剥製 国立科学博物館蔵

工芸ダイニング2021 —工芸と食—

工芸作家の作品を実際に「使って楽しむ」こと、和食を「食べて楽しむ」ことを体現する催しです。鑑賞するだけではなくることができる工芸の持つ“用”の美しさを、食事会を通じて感じていただきます。

■熱海会場：MOA美術館 ▶ 令和3年11月21日～25日
■福岡会場：料亭 嵯峨野 ▶ 令和4年2月5日



small planet/Tokyo, Japan/2005 ©Naoki Honjo

本城直季 (un)real utopia

現実の風景でありながらどこかジオラマのようなイメージを想起させる写真を撮ることで知られる本城直季。この大規模個展では、全国5会場を巡回し、各地で撮り下ろした作品も展示します。

■岩手県立美術館 ▶ 令和3年10月16日～11月28日
■東京都写真美術館 ▶ 令和4年3月19日～5月15日

日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル

「日本人と自然」を障害者の視点を通じて国内外に発信する文化芸術フェスティバルです。2020年から全国7か所、展覧会・舞台芸術など様々な分野の文化・アートを発信します。

■東北ブロック：岩手県 ▶ 令和3年10月 ■関東・甲信ブロック：埼玉県・山梨県 ▶ 令和3年10月～12月 ■近畿ブロック&グランドフィナーレ：滋賀県 ▶ 令和4年2～3月



“Edible Art”

～田んぼアート米を活用した6次化製品開発と田んぼをキャンバスに描かれる壮大なアートの魅力国内外発信プロジェクト～

世界最大の田んぼアートを制作している埼玉県行田市にて、「歌舞伎「菅原伝授手習鑑」-車引一梅丸」と葛飾北斎「神奈川沖浪裏」を組み合わせた田んぼアートを作成し日本の魅力を国内外に伝えます。

■埼玉県行田市 ▶ 田んぼアートの観賞 ▶ 令和3年7月中旬～11月中旬

※日本博各事業については、この度の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止・延期等の可能性がありますので、各事業の詳細については、公式サイト等で最新情報の確認をお願いいたします。

日本博は、「日本人と自然」をテーマに展開する、文化芸術の祭典です。この貴重な機会に、日本の芸術や文化をぜひお楽しみください。動画、VR、画像などの充実したコンテンツを公開中の「バーチャル日本博」や各事業の詳しい情報は日本博 WEB サイトから。リアルな感動を、バーチャル空間でも。



10
月号
日本芸術文化振興会二ニュース
(月刊)

令和3年10月1日発行 通巻639号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人 日本芸術文化振興会 〒110-2186 東京都千代田区隼町4-1
印刷 株式会社丸井工文社
03-3265-7411 (代表)



心を、うごかさう。Art Moves Us All.
芸術は、心を解き放ってくれる。別の世界へと連れていってくれる。
人と人を、つなげてくれる。私たちにはいま、芸術が必要だ。



掲載されている展覧会・公演・芸術祭などの詳細はホームページへ、<https://www.ntj.jac.go.jp/nihonhaku/credit/>

文化庁 独立行政法人 日本芸術文化振興会